

『盈たして 進む』



2学期のスタート！

長い夏休みが終わり、2学期が始まりました。1日の始業式には、児童53名全員が元気な顔を見せてくれたので、とても嬉しかったです。保護者の皆様には、コロナ対策と熱中症対策で夏休み中も気が気でない日が続いたことと思います。子ども達が大きな事故・けがもなく無事に2学期を迎えられたことに感謝いたします。

夏休みに入る前、私は子ども達に「名人は学校だけでなく、家庭や地域でも名人なんだよ。」と話をしていました。以下の4つです。

- ①いつでもどこでも自分からあいさつができた。
- ②家族に「ありがとう」が言えた。
- ③弟や妹、親戚や近所の年下の子どもに優しくできた。
- ④家の仕事を自分から進んでした。



どれくらい『夏休みの名人』になれたか尋ねてみると、約8割の子ども達が頑張れたと手を挙げました。(どれか一つでもOK) この頑張りを2学期につなげていきたいですね。

始業式では、11人の代表が2学期に頑張りたいことを発表してくれました。「苦手な勉強でも粘り強く頑張る」「他の学年の人たちとも仲良くする」「たくさん体を動かして体力をつける」など、それぞれが1学期の反省をもとにしっかりと考えていました。

「えいしんまつり」へ向けて ～そばの種まき～



コロナ感染拡大や天候の影響を受け、実施日が二度変更になりましたが、無事、そばの種まきを終わることができました。予定変更により5・6年生全員は揃いませんでしたが、なんとか時間を空けることができた7名(1・4年生2名を含む)が、多くの実りを願いながら心を込めて種をまきました。

暑い中でしたが、8名のJA青年部の方に「1カ所に集まらないよう満遍なくパラパラとまくとぞ。」と丁寧に指導していただいたおかげで上手にまくことができました。また、数名は大きなトラクターに乗せていただき、種をまいた後を「まぜまぜ」して土をかぶせました。

最後は、6年生の坂本瑠奈さんが「たくさんの実がなるように頑張ってお世話をします。ありがとうございました。」と、お礼の言葉を言ってくれました。今後、5・6年生は、発芽して大きく成長していくそばの観察をするとともに、雑草取りなどの取組で成長の後押しをします。

次回は、小麦の種まきです。JA青年部のみなさん、またお世話になります！

